

鉄人の菅平高原

木村佳司

ロゲイニングチャレンジ 2009 菅平大会 6 時間/12 時間の部 2009 年 9 月 22 日

菅平 Navi4days の最終日は日本最長の 12 時間ロゲイン。4 日間を満喫した菅平の鉄人がいた。

2009 年 9 月 22 日 長野県菅平高原
ロゲイニングチャレンジ「12 時間の部」



優勝賞品の野菜を手にする雀狼会の 2 名

結果

12 時間の部・男女混合チーム

- 1 おたからまんちん 1982 点
(古越三幸/古越ゆみ子)
- 2 ハムちゃん 1552 点
(宮崎崇徳/宮崎寿美子)
- 3 チーム馬の耳と九官鳥 1490 点
(藤原俊也/藤原和子)

12 時間の部 男子チーム

- 1 雀狼会 2127 点
(八幡 尚/山田穰太郎)
- 2 ハリーコッチャー 1891 点
(吉川直人/古茶轄己)
- 3 いや〜んぱか〜ん 1294 点
(清水直樹/半田豊)

6 時間の部 男女混合チーム

- 1 アコピーズ 1096 点
中嶋一史/中嶋明子
- 2 走好会ポ☆チ 980 点
池ノ谷伸秀/田才藍子
- 3 チーム Jeep 966 点
松井成二/岡村千絵美

6 時間の部 男子チーム

- 1 迷うダメ人間達 985 点
資延伸一/齊藤潮未/梅下友則
- 2 住高 54 830 点
吉田知弘/山下博
/高田和也/徳山和也
- 3 Team Heart Golds 774 点
上田浩嗣/上田皓一朗

鉄人クロマニオンズ

9 月 19 日から 22 日までの 4 日間にアウトドアナビゲーションを 5 イベント。これを達成した男がいる。岡部敦 (ク

ロマニオンズ) である。ロゲインを主戦場とする鉄人はこの菅平高原でナビゲーションの門を叩き、修行を積んだようだ。

9 月 19 日 (土) のダウンヒルに始まり、20 日 (日) のクラブカップは「クロマニオンズ」として出場。20 日 (日) 夜のナイトミニロゲインからいよいよ本領発揮。21 日 (祝) は松塾でクラブカップのトレインを復習。そして 22 日 (休) はロゲイン 12 時間の部に出場である。

主催者のひとりでもある筆者・木村は「誰かひとりこんな鉄人が居ないかな?」と密かに期待していたが、そんな期待に見事に応えてくれた。

岡部氏は菅平マスターの称号を勝手に贈りたい。



菅平 Navi4days の最後の種目を菅平ロゲイン 12 時間の部・男女混合クラスで締めくくった岡部淳(クロマニオンズ)。パートナーの田中悦子とともに感動のフィニッシュ。すでに周囲は日没になっていた。

広大なフィールド

今回の菅平ロゲイン 12 時間の部は長野県から群馬県にまたがる広大な範囲を使用した。A3 ノビサイズ縮尺 1:30,000 の地図でも 2 枚におよぶ。12 時間かけても満点は絶対に出ない。この広大な範囲はもはや 0-map ではカバーできない。国土地理院発行の数値地

図を OCAD 図面に変換して使用した。6 時間の部はこの 2 枚の地図のうち 1 枚だけを使用した。

人生のナビゲーション

空間を移動する手段としてのナビゲーションをテーマとした壮大な 4 日間イベントも終わりを迎えたころ、より大きな人生のナビゲーションを語るイベントとなったのが菅平ロゲイン 6 時間/12 時間の部だ。

というのも、ゲストランナーとして招待された井上氏、船尾氏の講演会が前日に行われた。

井上氏はウルトラマラソン・サハラマラソンのランナー。日本全国を走って児童養護施設へサハラの砂を届ける活動をしている。

船尾氏はゴビ砂漠マラソン参加後、中国を自転車で行断して日本まで帰国するというアウトドア派。

そんな彼らの話を聞いていると、人生というフィールドをダイナミックにナビゲーションしているような感覚になる。



招待選手の井上真悟が率いるチーム天井。がんばりすぎて大幅に遅刻、森の中で夜を迎えた。普通なら遭難モノだがさすがアドベンチャーレーサー。ちゃんと安全に帰ってきた。やる事が最後までダイナミック。表彰式のプレゼンターとしての役目が果たせず、皆さんにお詫びしている井上。

次回は花の季節

今回の菅平ロゲインは趣向を変え、開催時期を花の季節に戻す。2010 年 6 月 13 日に開催だ。前日イベントとしてクラブカップのリベンジイベントも行う。菅平高原の楽しみはまだ続く。

(木村佳司)